

第31回東海高等学校新人大会

男子2回戦

試合日 2018/2/10
会場 一宮市総合体育館
コート B
開始時間 14:20

TEAM A

浜松開誠館 66 97 県立四日市工業 三重1位
静岡2位

15	-	24
14	-	20
10	-	24
27	-	29
-	OT	-

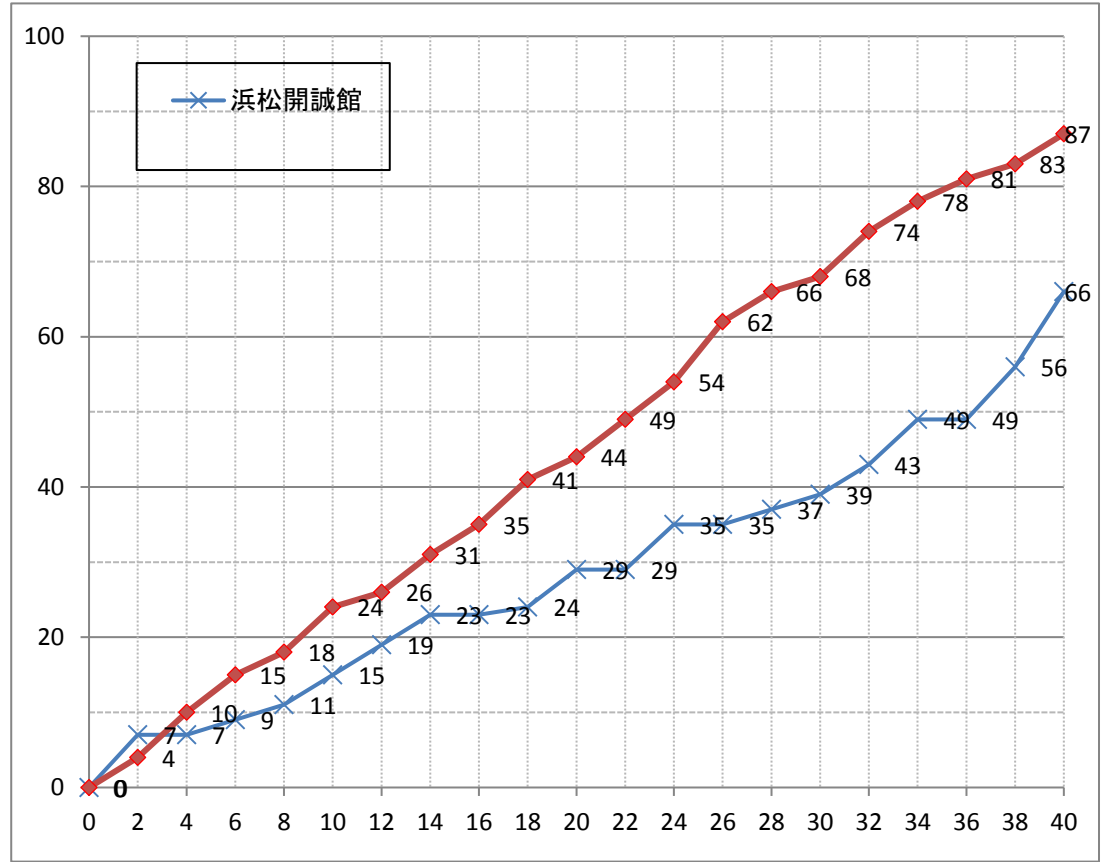
TEAM A 浜松開誠館 静岡2位

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	神田 誠仁	22	2	5	6	4
5	*	田中 勇樹	5	0	2	1	4
6	*	田中 駿	6	0	3	0	2
7	*	佐原 和樹	16	2	3	4	2
8	*	飯島 友汰	10	0	4	2	4
9		二村 遥	4	0	2	0	3
10		山口 慶悟	0	0	0	0	1
11		岡 龍之介	-	-	-	-	-
12		鈴木 利尚	0	0	0	0	0
13		松尾 智哉	-	-	-	-	-
14		宇野 至音	0	0	0	0	1
15		山本 啓太	-	-	-	-	-
16		曾田 翔己	3	1	0	0	4
17		池谷 愛斗	-	-	-	-	-
18		近田 都和	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			66	5	19	13	25

TEAM B 県立四日市工業 三重1位

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	三谷 啓吾	5	0	2	1	3
5		野浪 明人	0	0	0	0	1
6	*	水谷 祐葵	29	5	2	10	3
7	*	西田 航	16	0	5	6	2
8		小村 和馬	2	0	1	0	0
9	*	野田 巧真	8	0	4	0	1
10		小野 元暉	0	0	0	0	2
11	*	吉門 広晶	16	0	5	6	1
12		中川 貴晶	0	0	0	0	0
13		角前 太征	0	0	0	0	1
14		水本 宗磨	-	-	-	-	-
15		水谷 航	8	0	3	2	2
16		尾崎 郁弥	1	0	0	1	0
17		原田 琉成	-	-	-	-	-
18		水越 慎吾	2	0	1	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			87	5	23	26	16

【 得点経過 】



【 戦評 】

第1P、浜松開誠館4、5、6、7、8、四日市工業4、6、7、9、11でスタート。浜松開誠館はハーフコートマンツーマンディフェンス、四日市工業は2-1-2のゾーンプレスから3-2のゾーンディフェンス。四日市工業#11吉門のフリースローで先制するが、浜松開誠館も#6田中や#4神田のゴール下シュートで応戦する。両チーム一進一退の攻防の中、四日市工業#6水谷の3Pシュートがこのピリオドにブザービートを含む4本決まり、15-24の9点差で四日市工業のリード。第2P、両チームともディフェンスは変わらず。序盤は一進一退の攻防を続けるも、四日市工業は#7西田や#11吉門、#6水谷のドライブインを中心にインサイドを攻め続け、確実にリードを広げ始める。一方、浜松開誠館は残り5分に、#4神田が早くも4つ目の個人ファールやチームファールも重なり、苦しい展開に。浜松開誠館残り3分にタイムアウトを取り、直後#4神田から#8飯島への合わせで得点するも、決定力に欠けなかなかリズムに乗れないまま、29-44で四日市工業が15点リード。第3Pも両チームともディフェンスは変わらずスタート。果敢にインサイドを中心に攻め続けた四日市工業が終始リードし、39-68の29点差で4Qへ。第4P、両チームDefは変わらず。なんとか追いつきたい浜松開誠館は得点から1-2-1-1のゾーンプレスで点差が縮まらない。残り3分四日市工業がメンバーを総入れ替えした直後に浜松開誠館は一矢報いるも、66-87で四日市工業の勝利。浜松開誠館も最後まで果敢に攻め続けたが、四日市工業のインサイドの支配力が勝敗を決めたゲームであった。

記入者 澤村 悠介